

< 報道発表資料 >

令和 8 年 7 月 2 2 日

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

「京都の銭湯どうするんか会議」第 1 回会議の開催

～物価高騰、設備老朽化、相次ぐ廃業。課題だらけの今、どうするんかを考える。～

本市では、住民の健康増進や地域コミュニティの要でありながら、深刻な経営危機に直面する京都の銭湯の持続可能な未来に向けて、銭湯を取り巻くステークホルダーが多様な視点から対話する「京都の銭湯どうするんか会議」を開催します。

【背景と目的】

京都の銭湯は、健康維持や防災、地域交流の拠点として重要な役割を担っていますが、現在は燃料高騰、後継者不足、設備の老朽化などにより存続の危機にあります。

こうした中、伝統ある大切な文化を次世代へ承継するため、銭湯関係者、大学、行政等が立場を超えて対話し、互いの知恵や技術を持ち寄りながら試行錯誤を繰り返す「共創型会議」として本会議を立ち上げ、科学的な効果検証を交えながら、持続可能な仕組みづくりを模索します。

【開催概要】

- 日 時 令和 8 年 7 月 2 8 日(火) 午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分

※取材は、会議冒頭のみとさせていただきます。

- 場 所 ^{きねや}鬼音家（〒600-8029 京都市下京区西橋詰町）

- 出席者（敬称略、順不同）

京都府知事 西脇 隆俊

京都市長 松井 孝治

京都大学大学院医学研究科社会疫学分野教授 近藤 尚己

京都府公衆浴場業生活衛生同業組合 理事長 吉本 誠

京都府公衆浴場業生活衛生同業組合 副理事長 鈴木 信也

京都府公衆浴場業生活衛生同業組合 常務理事 蔭田 高明

京都府公衆浴場業生活衛生同業組合 組合員 湊 雄祐

一般社団法人湯道文化振興会 代表理事 小山 薫堂（代理出席 木野 咲）

京都市ソーシャルイノベーション研究所 橋本 勇人

一般社団法人安寧社会共創イニシアチブ 理事 占部 まり

● ファシリテーター（敬称略）

株式会社 よい根 代表取締役 前田 展広

● 主な話題（予定）

（テーマ1）銭湯の現状と未来～銭湯の価値と課題～

（テーマ2）銭湯応援事業の現状とこれから

- ・ 銭湯応援事業（京都銭湯 二十四節気 湯めぐり、子ども入浴料金無料化など）の実施状況の報告
- ・ 科学的で楽しい“どうするんか”の検討

● 主催：京都市保健福祉局 医療衛生推進室 医療衛生企画課

協力：一般社団法人 安寧社会共創イニシアチブ

<お問合せ先>

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

電話：075-222-4272